



TITLE:

編集後記・編集委員・購読要項・  
投稿内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1976, 22(4):  
444-444

ISSUE DATE:

1976-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121947>

RIGHT:

## 編 集 後 記

現在の医学用語の混乱情況にたいして、日本医学会、医学用語委員会編の医学用語辞典がある程度の交通整理の役割をはたすようにおもわれる。この辞典では *pyelography* の訳語として「腎盂造影」を第一に、カッコつきで「腎盂撮影」を採用している。これは適切なことで、私はむしろ腎盂撮影という語はなくてもよいと思っている。ほんらい影像をもたらない臓器の影像を造るのであるから「造影」であり、またより正確には単純撮影にたいし造影撮影という語になる。一方、摘出した腎臓の腎盂をカメラでパチリと写せば「撮影」になろう。また最近編集した論文にいちどならずみられた不思議なことばがある。腎の“中極”という語である。極は上極、下極しかないはずで、地球に熱帯極がないごとく、腎に中極はない。腎中央部という表現に訂正させていただいてほしいである。(T. T.)

## 編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重	新 谷 浩
園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

## 購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料 5,000 円 (送料とも) 前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間20ドルです。
3. 入会は氏名 (フリガナ)、住所 (雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR など、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名: 書名. 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

---

泌尿器科紀要 第22巻 第4号	1976年6月25日 印刷	1976年6月30日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500 円 (送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話 (075) 751-3327 (直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入

---